

東京都のがん死亡者の中で 大腸がんは
女性で 第1位、 男性で 第2位です。

がん検診の結果が「要精密検査」の方は
必ず精密検査を受けましょう!

東京都で精密検査を受診した方（45,500人）のうち、
大腸がんが見つかったのは **5.8%** (2,645人)です。



| 大腸がん検診（40歳以上） | 人数（平成30年度） |
|-----------------|------------|
| 検診の結果が「要精密検査」の方 | 79,536人 |
| 精密検査を受診した方 | 45,500人 |
| 大腸がんと診断された方 | 2,645人 |

※人数は令和2年度東京都がん検診精度管理評価事業調査結果より

大腸がんは、早期に治療をすれば **90%** 以上が助かります*。

*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2009～2011年診断例）

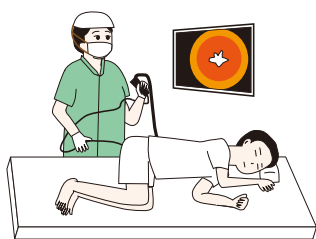


前回精密検査を受けて「異常なし」だった場合や、痔などの場合でも、
ご自身で判断せず、必ず精密検査を受けてください。

精密検査の内容

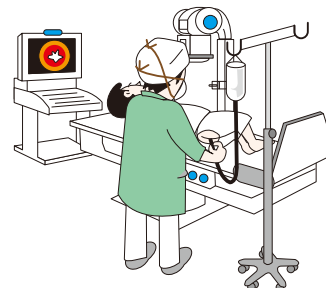
● 全大腸内視鏡検査

精密検査として第一に推奨される方法です。内視鏡で大腸の全部位を観察し、必要に応じて大腸粘膜の細胞を採取します。



● S状結腸内視鏡検査・注腸エックス線検査

大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合は、S状結腸までを内視鏡で観察し、奥の大腸はバリウムを流し込みエックス線で調べます。



※便潜血検査の再検査は、精密検査ではありません。

お問合せ先



東京都がん検診啓発キャラクター「モシカモくん」

精密検査の受け方

1

精密検査を受ける医療機関を選びましょう

| 医療機関名 | 所在地 | 電話番号 |
|-------|-----|------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

上記の医療機関以外でも、大腸がん検診の精密検査は**消化器内科・内視鏡内科・胃腸内科のある医療機関**で受けることができます。ただし、すべての消化器内科・内視鏡内科・胃腸内科のある医療機関で実施しているわけではありませんので、ご注意ください。

2

医療機関に精密検査の予約をしましょう

精密検査を受ける医療機関を選んだら、医療機関へ連絡して受診日を予約してください。

3

医療機関で精密検査を受けましょう

精密検査当日の持ち物

- ・健康保険証
- ・大腸がん検診結果通知書
- ・大腸がん検診精密検査依頼書及び結果報告書
- ・返信用封筒

精密検査の費用

精密検査は通常の保険診療として、健康保険を適用した際の自己負担分をお支払いいただくこととなります。詳細については、受診する医療機関へお問い合わせください。

4

精密検査の結果を受け取ります

精密検査の結果に応じて、医師の指示に従いましょう。

異常がなかった場合は、必ず年1回定期的に大腸がん検診を受診しましょう。

区市町村への精密検査結果報告のお願い

区市町村では、精密検査の結果を把握することで、大腸がん検診の質の向上に取り組んでいます。このため、精密検査の結果は、精密検査を実施した医療機関から区市町村や大腸がん検診を受けた医療機関へ報告され、共有されます*。

精密検査を受ける際には、「大腸がん検診精密検査依頼書」と「返信用封筒」を精密検査を受ける医療機関に提出し、記載を依頼していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

医療機関から「依頼書の作成に費用がかかります」と言われる場合があります。書類作成をお断りされる場合は、お手数ですが表面「お問合せ先」までご連絡くださいますようお願いいたします。

*国は、精密検査を実施した医療機関に、区市町村や大腸がん検診を実施した医療機関への精密検査結果の情報提供を求めています。精密検査結果は、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても区市町村や検診実施機関に対して提供することが可能です。